

公衆衛生看護疫学・保健統計論

[講義] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》 表山知里 [omote_22@hoku-iryo-u.ac.jp] 西基 [motoi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

公衆衛生看護活動に必要な疫学・保健統計の基礎的知識と考え方について学ぶ。人口集団における健康水準を、様々な健康に関連する事象とその背景・要因をふまえて把握するとともに、地域における健康増進および疾病予防に役立てる方策やエビデンスに基づく公衆衛生看護活動について探求する。

【学修目標】

1. 公衆衛生看護活動に必要な疫学の基礎的知識と考え方について説明できる。
2. 公衆衛生看護活動に必要な保健統計学の基礎的知識と考え方について説明できる。
3. 人口統計や既存の保健統計資料から得られる健康指標を説明できる。
4. 実習先となる市町村の人口学的データおよび健康指標の分析を通して、当該地域の健康水準を読み取り、健康増進および疾病予防に役立てる方策について考えることができる。
5. エビデンスに基づく公衆衛生看護活動を行うために必要な測定尺度の活用方法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	疫学の基本概念	疫学指標、記述疫学	西
2	統計解析	代表値、標準偏差と正規分布	西
3	分析疫学(1)	コホート研究、症例対照研究、偶然誤差、バイアス、精度と正確度、カイ2乗検定、t検定、多変量解析	西
4	分析疫学(2)、介入研究	介入研究の目的と倫理、介入研究の実際	西
5	横断研究、臨床疫学(1)	横断研究、臨床疫学の定義	西
6	臨床疫学(2)	スクリーニング検査、カットオフ値、ROC曲線 メタ分析、EBM	西
7	1～6回の内容についての試験	計算問題を中心とする筆記試験	西
8～9	地域の実態を把握するための統計指標	人口静態統計、人口動態統計、医療・福祉に関する統計データ、健康増進・生活習慣病に関する統計、社会福祉・介護・高齢者福祉に関する統計、医療経済統計、学校保健統計、がん登録、脳卒中登録	表山
10～11	統計データを用いた地域の実態把握と方策の検討	実習先となっている市町村の人口学的データおよび健康指標（ホームページや実習先からの配布資料など）を用いて、その地域の人口集団における様々な健康に関連する事象とその背景・要因をふまえて健康水準を把握する。さらに、当該地域における健康増進および疾病予防に役立てる方策について発表し、学生間の討議を通して考える。	表山
12～13	地域の実態を把握するための測定尺度	健康関連QOL尺度、日常生活動作、抑うつ・不安・気分を測定する尺度、認知機能、ソーシャルキャピタルなど	表山
14～15	地域の実態を把握するための測定尺度の活用方法	地域の実態を把握するための測定尺度を用いた研究論文を持ち寄り、エビデンスに基づく公衆衛生看護活動を行うための測定尺度の活用方法について学ぶ。	表山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

筆記試験(50%)、参加状況(準備・質疑)(15%)、プレゼンテーション(20%)、プレゼンテーション資料(15%)によって、総合的に評価する。

【教科書】

高橋茂樹,西基:New Simple Step 公衆衛生第2版, 総合医学社
西基: New Simple Step 公衆衛生 最速トレーニング 365問, 総合医学社
尾崎 米厚:疫学・保健統計学 第4版, 医学書院

【参考書】

適宜提示する。

【備考】

Google Classroomを用いて出席確認及び学修の理解の確認を行う。

【学修の準備】

教科書及び関連する文献を事前に熟読して講義に臨む。学生のプレゼンテーションにあたっては資料を作成、討議テーマを提示する。

【学修の方法】

1～9回は基礎的な内容の講義とする。10～15回は学生がプレゼンテーション・討議を行い、教員がコメントする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

表山知里（保健師）、西基（医師）